機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0140441	3.2.2.	1		充当の決議日に即時で充当できること。 また、未来日の充当登録が可能なこと。ただし、通知書発送までの期間は充当情報の修正・削除が可能なこと。 個人住民税・森林環境税の給与特徴の不一致リストを抽出し、組替処理ができること。 個人住民税の株式配当割・株式譲渡割を一括充当できること。 充当処理結果の照会ができること。 充当の履歴管理ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140186	3.2.3.	1	自動充当	過納が発生している納税義務者に対し、納期到来期に未納があれば、自動充当できること。自動充当にあたっては、納期限順・本税優先に充当されること。	標準オプション機能	
0140187	3.2.3.	1		自動充当の除外条件が設定できること。任意の除外条件を設定できること。 除外条件： 死亡者・還付加算金有・他税目未納有・分割納付計画有・滞納処分予定・滞納処分の停止中	標準オプション機能	
0140188	3.2.4.	1	充当取消	充当処理の取消ができること。 ただし、出納閉鎖後は充当処理及び充当処理の取消が行えないように制御すること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140189	3.2.5.	1	充当適状日	充当適状日は法令通り自動設定されること。また、手動で変更できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140190	3.2.6.	1	還付加算金	対象の税目、期別へ法令どおり還付加算金加算した金額を充当できること。 反映した還付加算金については金額の変更ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140442	3.2.6.	1		還付加算金の計算では、還付事由が変更されても、自動で再計算処理ができること。 再計算前に職員が確認できること。	標準オプション機能	
0140191	3.2.7.	1	通知書	充当を行った税目、期別の対象者について還付充当通知書が一括及び個別で出力できること。 還付充当決議書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140192	3.2.7.	1		給与特別徴収の個人充当については、個人用の充当通知書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140193	3.2.7.	1		通知内容の文言・還付充当情報については、自由に登録・編集できること。 対象者の一覧を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140194	3.2.7.	2		通知書のタイトルについて、還付のみの場合は「還付通知書」、充当のみの場合は「充当通知書」、還付充当の場合は「還付充当通知書」として出力できること。	標準オプション機能	
0140195	3.2.8.	1	充当先の選択	他税目・他宛名への充当ができること。 他の宛名へ充当をした際には、充当元の充当額が自動で変更されること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140196	3.2.8.	1		延滞金へ充当ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140197	3.2.8.	1		複数期別への充当ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140443	3.2.8.	1		滞納処分費へ充当する場合、充当の事実として充当時の金額、充当元期別、日付を管理（設定、保持、修正）できること。	標準オプション機能	
0140199	3.2.8.	1		納税通知書発送前の充当はできないこと。	標準オプション機能	
0140200	3.2.8.	2		充当先の候補となる同一宛名番号の税目・期別が自動表示されること。	標準オプション機能	
0140201	3.2.8.	2		督促手数料へ充当ができること。	標準オプション機能	
0140202	3.2.8.	2		被相続人について発生した過誤納金を相続人に対して充当の処理を行う際に、相続人に未納徴収金がある場合には、相続人の未納徴収金への充当処理ができること。	標準オプション機能	
0140203	3.2.9.	1	納期未到来対象への充当	納期未到来分への充当処理ができること。充当の際、アラートが表示されること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140204	3.2.10.	1	還付加算金の充当	還付加算金が発生した場合、税目、未納のある期別を選択し、選択した税目の期別へ充当入力ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
	3.3. 還付処理					
0140205	3.3.1.	1	還付処理	抽出した過誤納一覧を基に、還付入力ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140206	3.3.1.	1		過誤納一覧に拠らず、直接税目・期別を検索・指定して還付入力ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140207	3.3.1.	1		過誤納になっていない税目・期別からも強制的に還付できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140208	3.3.1.	1		還付額は過誤納額から自動で設定されること。設定された金額の変更もできること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0140209	3.3.1.	1		還付入力を行った日付、還付を決定した日（決議日）、還付金の請求日、還付日（予定日）、通知日、還付理由、メモを入力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日